



出展プリント確認作業の様子

事務局便り

事務局 高田幸二

【展示プリントの最終確認会について】

2月16日（土）の研究会で2019展最終プリント確認が行われました。参加者は9名で、展示プリントが指示通りできているか確認しました。

プリント確認作業を行いながらカラー作品の各賞を審査しました。その結果を添付します。デジタル部門とモノクロ部門の各賞審査は、3月26日（火）の作品搬入日に行います。

【写真展会場当番の変更手続きについて】

2019展会場当番の「当番変更連絡」は現在1名ありました。他に変更希望の方がいましたら早めにご連絡下さい。ご希望に添えるよ

うに努力いたします。あくまでも変更のみです。小人数で当番行いますので、欠席は避けてください。当番変更連絡ハガキは3月3日（土）迄に投函お願いします。

【写真展入場券の発送作業について】

2月20日（水）13時~17時に塚口サンサウン小集会室で入場券の発送作業を運営委員、実行委員の5名で行いました。1857名分の入場券の発送作業を全て終了する予定でしたが、この作業不慣れなせい、それとも期待していた人数が集まらなかったせい、約600名分の入場券発送準備出来ず終了しました。残りは事務局が持ち帰り行いました。来年度は入場券発送作業は関西の会員全員でやっていただきます。

【2019年度撮影会予定について】

1月開催の新年会の際に、撮影会担当 末永会員より「撮影会開催場所に関するアンケート」を実施致しました。アンケート結果を踏まえ、現在21件の撮影会催行案をリストアップしました。

4月と5月の研究会において、最終の撮影会スケジュールを決定し、6月の定期総会にて撮影会年間スケジュールをご案内致します。

『日本大判写真展』2019 各賞受賞者一覧表

事務局 高田 幸二

2月16日の出展プリント最終確認会において、出席者全員の投票により、以下の通りカラー作品の各賞受賞者が決定致しました。

特選、準特選の受賞者へは副賞の賞状額とともに賞状を、奨励賞の受賞者へは賞状を、夫々発送致しました。

【第26回会員展 自由作品の部】

特選 榎垣 茂「太平山よりの富士」
準特選 米本 雅男「マチャプチュレタ照」
奨励賞 村林 俊弘「夕陽に輝く」

【第16回会友展 自由作品の部】

特選 玉田 一志「霧氷爛漫」
準特選 桑名 保喜「冬陽射す山上の里」
奨励賞 植田 富一「雪面の影絵」
奨励賞 山口 哲平「強者共の夢の跡」

【課題作品の部：「水のある風景」】

特選 広木 孝一「静寂」
準特選 渡邊 孝「宝龍の滝」
奨励賞 末永 宏「Let The Sunshine In」
奨励賞 古岡 茂「凍てる水辺」

3月度研究会について

研究会担当 松本 憲治

3月は写真展開催のため、研究会は開催致しません。次回の研究会は4月20日(土) 13:30から大阪写真会館4回会議室にて開催の予定です。

す。詳細は、4月号イメージサークルにてご連絡致します。

【モノクロ部会例会の開催について】

以下の日程で、3月度のモノクロ部会例会を開催致します。

日時：平成31年3月10日(日) 13:00~15:00

場所：神戸 B&W Lab.内暗室

打合せ内容：

1. モノクロ部会会員出展作品引取について
2. 次年度の活動内容について

暗室は9時から使用可能です。プリント作業希望者は、出来るだけ午前中に作業を行って下さい。

桜情報おさらい 近畿地方編

兵庫県尼崎市在住 高田 幸二会員

桜のシーズンが近づいてきました。本年の課題は「花のある風景」です。ここで桜知識のおさらいと近畿の撮影場所を調べておきましょう。桜の種類は多くあります。ソメイヨシノ、ヤマサクラ、シダレサクラ、エドヒガン、カンヒザクラ、キクザクラ、ウコン、フゲンソウ等ありますが代表的な4種類に絞り特徴と撮影場所を紹介致します。

ソメイヨシノは、江戸時代末期に「吉野桜」と称して売り出されたといわれます。日本人の花見の歴史から見れば、まだ200年に満たないサクラです。そのようなソメイヨシノが、なぜ全国的にしかも急速に広まったのでしょうか。ソメイヨシノを植えるように推奨したのは明治政府といわれています。明治維新後の新政府は、徳川時代から続く諸々の体制を積極的に排除しました。サクラの世界においても同様なことが行なわれ、今までのサクラの名所にあったヤマザクラは、政府の意向で新しく登場したソメイヨシノに植え替えられました。ソメイヨシノは富国強兵の波に乗り、あっという間に全国に植え広まったのです。ソメイヨシノ寿命はあまり長くなく60年ぐらいです。大木にはなりません。

至る所でソメイヨシを見ることができますが、特に河川敷、神社、学校の校庭でよく見る里の桜です。家庭ではおめでたい出来事の記念に植えられることが良くあります。関西では淀川背割堤など撮影場所は多くありますが、ここでは竹田城跡を紹介します。竹田城跡は自家用車で「山城の郷」までしか行きません。そこからはタクシーかバスで中腹バス停まで行き20分徒歩となります。春は午前8時から入城できます。



竹田城跡のソメイヨシノ

エドヒガンザクラは山野に咲くソメイヨシノの親とされ、淡いピンク色の花が特徴です。名前の通り春の彼岸頃に花を咲かせます。シダレザクラはエドヒガンの変種が多く、様々な品種があります。長寿で巨木になります。岡山県の樹齢700年の醍醐桜、奈良県の樹齢900年の佛隆寺の桜、樹齢300年の又兵衛桜、樹齢70年の諸木野の桜等が有名です。



諸木野のエドヒガンザクラ

ヒカンザクラ（緋寒桜）はヒガンザクラ（彼岸桜）と混同されますが全然違います。花色が緋色（ひいろ）に染まることからこの名がつけられました。台湾や沖縄でよく見られる桜で本土でも見られます。京都府立植物園で見られます。



京都府立植物園のヒカンザクラ



三多気ヤマザクラ

ヤマザクラは日本のサクラを代表する一つです。赤茶色に染まった新葉と同時に淡紅色の花を開き、成葉は緑色で裏面は白みが強い。奈良県吉野桜のほとんどが白ヤマザクラです。曾爾村の屏風岩公苑、三重県三多気ヤマザクラも有名です。広島県では樹齢400年の千鳥別尺桜があり4月中旬ごろが見ごろです。